

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第81回研究会開催案内

日時：平成25年10月24日(木) 18:30 - 20:30

場所：エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL : 092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

講師：福岡農産物通商(株)代表取締役坂井紳一郎(さかい しんいちろう)氏

略歴：1953年北海道釧路市生まれ。1975年4月ホクレン農業協同組合連合会に入会本所食品課に配属。1983年1月ホクレン東京支店食品課に転勤、89年食品課長、93年役員室貿易推進室調査役として貿易部門設立プロジェクトに関わる。1996年6月株式会社ホクレン通商出向し、常務取締役に。2011年3月ホクレン農業協同組合連合会を退職して同年5月全国農業協同組合連合会福岡県本部嘱託に。その後福岡農産物通商(株)へ出向、海外事業部長。2011年12月より福岡農産物通商(株)代表取締役に。

テーマ：日本産農産物輸出の拡大のための課題

概要：福岡農産物通商(株)は、設立3年目の会社であるが、JAふくれん、全農ふくれんに加えて、福岡県庁、九州電力、JR九州、西鉄など九州の主要な企業・組織が株主として名を連ねている。福岡地域の農水産物を積極的にアジアあるいはEUに向けて輸出して行こうということが設立の主旨で、現在、香港を中心にシンガポール、台湾、マレーシア、タイ、EU、カナダ、輸出を推進中。これは、講師が以前勤務しておられた北海道のホクレン通商と非常に近いビジネスモデルであるが、農水産物、加工食品、果実類を中心に、福岡空港の優れたアクセスを利用して週2~3便「あまおう」を香港、台湾、タイ、シンガポールに向けて輸出して成功しているのは、一つの典型である。それ以外でも福岡は果物が豊富であるため、柿、みかん、梨、桃も積極的に輸出を図っており、さらに「八女茶」もヨーロッパ向けに手掛けている。福岡の最大の優位点は、空港にしろ、港湾にしろ、アジアに向けてのアクセスが非常に良いことであり、日本の他地域に比べても、アジアの市場に到着後クレームが少ないというメリットを享受している。しかし、今後成長するアジアに向けて、安定的に日本の農産物の供給体制を作ること、初めて商業的に成功が得られるが、そのためには、「福岡」だけではなく、「九州全域」あるいは「全日本」で「冷凍食品」も含めて、安定的な体制を作っていくことが重要と思われる。「ここ2~3年日本の輸出は地域間の競争の時代ではなくて協調の時代に入っており、これからは地域間あるいは異業種、との協調の中で輸出事業を成功させる時代になっている」と講師は強調している。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会